

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン湘南海岸公園 新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県藤沢市片瀬5丁目2143番1	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、法22条区域	平均居住人員	140 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2022年7月21日
敷地面積	3,194 m ²	作成者	株式会社セット設計事務所
建築面積	1,252 m ²	確認日	2021年7月25日
延床面積	2,840 m ²	確認者	株式会社セット設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性能を高めており劣化対策等級3相当などを中心に環境に配慮した設計としている。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音性能等級T-2以上の建具の採用、庇+カーテンで昼光制御を行うなど室内環境に配慮した設計としている。住居の開閉部ガラスは断熱効果が高めるため複層ガラスを採用している。	劣化対策等級3相当、階高のゆとり住居部2.9m以上確保などサービス性能に配慮した設計としている。	敷地内温熱環境向上において高温排熱は排出しない。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
[BEI][BEIm]=0.83 断熱等性能等級4相当	部材の再利用可能性の向上において下地材と上材材が容易に分別可能なLGS+石膏ボード仕上を採用している。	LCCO ₂ 排出率78%とし一般的な建築と同等に抑えており敷地外環境に配慮した設計としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される